

Electronics for the Future



# ROHM Group Corporate Profile

2024 / 2025

# ロームの企業目的と目指す姿

ロームの事業活動は、創業時から変わらない「企業目的」に基づいており、良い商品の供給やものづくりを通じて、文化の進歩向上に貢献してきました。現在は、それをより具体化したステートメントや経営ビジョンに基づき、事業活動を行っています。

## 企業目的

われわれは、つねに品質を第一とする。  
いかなる困難があろうとも、良い商品を  
国の内外へ永続かつ大量に供給し、  
文化の進歩向上に貢献することを目的とする。

**ROHM**  
SEMICONDUCTOR

ローム株式会社

## ステートメント

### Electronics for the Future

ロームは、エレクトロニクスの技術で、  
社会が抱える様々な課題を解決し、  
未来に向けて、人々の豊かな暮らしと、  
社会の発展を支え続けていきます。

## 経営ビジョン

パワーとアナログにフォーカスし、  
お客様の“省エネ”・“小型化”に  
寄与することで、社会課題を解決する。

# 2025

## 中期経営計画

### “MOVING FORWARD to 2025”

“自動車” “海外”での成長実現と  
更なる成長に向けた基盤作り

# 2030

グローバルメジャー  
の実現

## Electronics for the Future

### エレクトロニクスで社会課題を解決する会社へ

世界では、持続可能な社会の実現に向けた取り組みが加速し、企業においても環境や健康など、様々な社会課題の解決につながる活動が重要視されています。

ロームにとって、これらの考え方は、決して新しいものでなく、創業時より掲げる「企業目的」に基づき、良い商品の供給やものづくりを通じて、文化の進歩向上に貢献してまいりました。企業規模や経営環境は大きく変化しましたが、これらの考えは不変であり、ロームのDNAとして、脈々と受け継がれています。

この不変の企業目的を再認識するとともに、新たな社会基盤における当社の使命を明確にするために策定したのが「ステートメント」や「経営ビジョン」です。

「エレクトロニクスを通じて、社会が抱える様々な課題を解決し、未来に向けて、人々の豊かな暮らしと社会の発展を支え続ける会社」であり続けるという、我々の誓いを明示化しています。

特に今、喫緊の課題となっている「脱炭素社会」の実現に向けて、ロームの主力商品である半導体・電子部品の重要性は、ますます高まっています。

社会やお客様からの期待も大きくなる中、新商品・新技術の開発や、商品の安定供給、ものづくりにおける環境配慮といった取り組みを加速するとともに、中期経営計画に基づき、財務・非財務の両面で、より強固な経営基盤を構築してまいります。



ローム株式会社  
代表取締役社長  
社長執行役員

松本 功

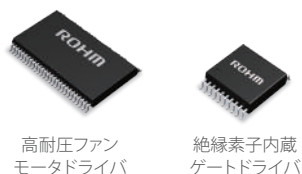
# Technology

企業目的に基づき、商品を通じた文化の進歩向上を目指すロームでは、IC、ディスクリートデバイスから、モジュール、パッシブデバイスまで、幅広いラインアップを取り揃えています。

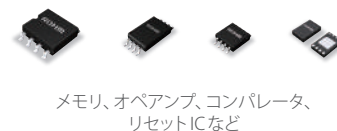
## パワーマネジメント / 電源IC



## モータ/アクチュエータ ドライバIC



## 汎用IC



## センサIC



## マイクロコントローラ

powered by  
**LAPIS**  
TECHNOLOGY



## 画像LSI

powered by  
**LAPIS**  
TECHNOLOGY



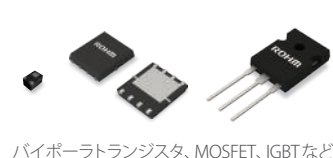
## SiC (シリコンカーバイド) パワーデバイス



## GaN (窒化ガリウム) パワーデバイス



## トランジスタ



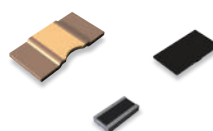
## ダイオード



## LED / 半導体レーザー



## 抵抗器



## サーマルプリントヘッド





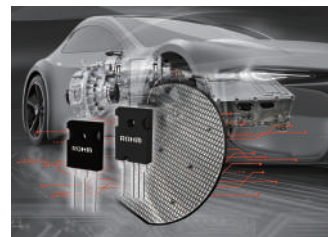
# Solution

幅広い商品群の中でも、得意とする「パワー」、「アナログ」を中心に、ソリューション提案を加速。デバイス性能のみならず、その性能を最大限に引き出す周辺部品を揃えることで、社会課題の解決に貢献しています。

## 脱炭素社会の実現に向けて

### ■ 省エネ

ロームの主力商品である半導体は、全世界の電力消費量の大半を占めると言われるモーターや電源の効率改善に大きな役割を果たします。世界をリードするSiCを中心とした特長あるパワーデバイスに加え、デバイス性能を最大限に活かす制御ICやパワーダイオード、シャント抵抗器などの周辺デバイスもラインアップ。パワーとアナログ技術の相乗効果で、価値あるソリューションを提供します。



### ■ 小型化

パワーデバイスやアナログICの性能向上は、バッテリーや冷却装置など周辺部品の削減にもつながります。ロームでは、それぞれの特性や仕様をすり合わせ、最適化した商品を提供することで、システムの小型・軽量化に貢献します。加えて、独自の微細化技術を詰め込んだ超小型デバイスを開発するなど、限りある資源の有効活用に取り組んでいます。



## 安全・安心な社会の実現に向けて

自動車の技術革新が加速する中、その安全性の確保が重要な課題となっています。ロームは、半導体レベルでの安全性能を徹底追求し、事故の未然防止に寄与する「機能安全」に対応した商品を拡充。「ComfySIL™」ブランドとして、現在では1000品番を超えるラインアップを誇ります。

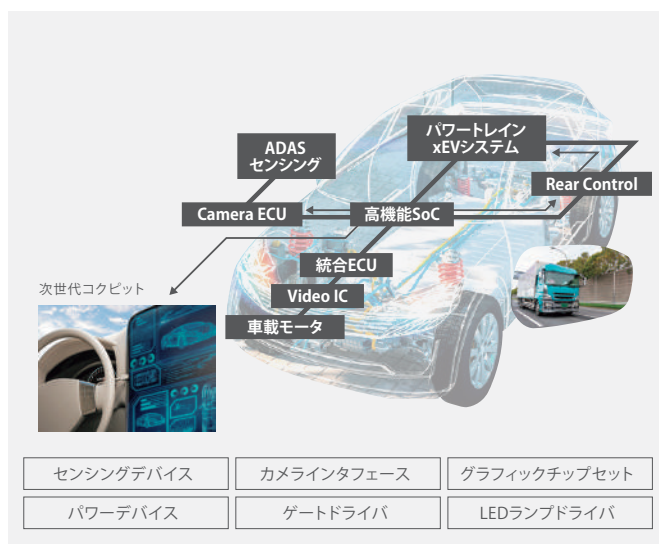


自動車向けの「機能安全」に対応した商品に対して「ComfySIL™（コンフィシル）」ブランドを冠するとともに、特設サイトを開設しました。商品および各種ドキュメントの検索性を向上することで、自動車分野の電子回路設計者やシステム設計者の作業効率改善に貢献します。

### ComfySIL™ 特設サイト

<https://www.rohm.co.jp/functional-safety>

※ComfySIL™は、ローム株式会社の商標または登録商標です。



# Reliability

ロームが60年以上にわたって追求してきた「品質第一」のものづくり。これを支えるのが、垂直統合型生産体制 (IDM) のビジネスモデルです。徹底した品質管理に加え、有事にもフレキシブルに対応することで、安定供給体制を構築しています。

## 高品質

材料段階から完成品までの生産工程をグループ内で完結させるIDMのもと、すべてのプロセスで品質を高めるとともに、トレーサビリティを確立しています。

## 安定供給

外部影響を受けにくい一貫生産を軸に、製造技術の進化とサプライチェーンの最適化を加速することで、長期安定供給を実現しています。

## 垂直統合型生産体制

IDM (Integrated Device Manufacturer)

### 原材料からのこだわり

シリコンのインゴット引き上げからウエハを製造



シリコン原石



Silicon Ingot

### 内製フォトマスク

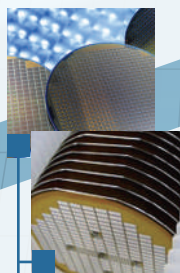
ICチップデザインのレイアウトからフォトマスク製造まで一貫した品質管理で高品質を追求



CAD



Photo Mask



Wafer Process



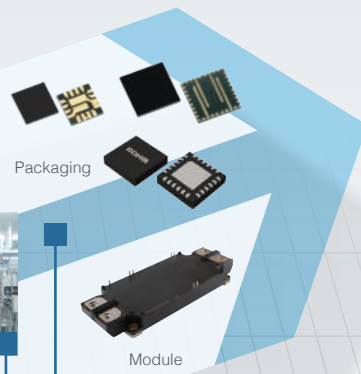
Frame



Die / Mold



Assembly Line



Packaging

Module

### ウエハプロセス

日本の生産拠点を中心に、ウエハプロセスから革新的なデバイス作りを展開

### パッケージ

最先端のアセンブリ技術と高品質を誇る海外生産拠点

Si  
シリコン

SiC  
シリコン  
カーバイド



SiCrystal

**SiCrystal**

A ROHM Group Company

### SiC単結晶ウエハメーカー

SiCrystal社は2009年にロームグループの一員となったドイツのSiC単結晶ウエハメーカー

## TOPICS

## 人と人、人と未来をつなぐものづくり

世代を超え、技術とスピリットを受け継ぎながら、ロームは歩みを進めてきました。ロームのものづくりの強みと、そこに情熱を注ぐ人の物語を、動画でお届けします。

動画はこちら





# Sustainability

ロームグループは、サステナブルな社会の実現に向けて、あらゆる事業活動を通じた社会貢献を目指しています。



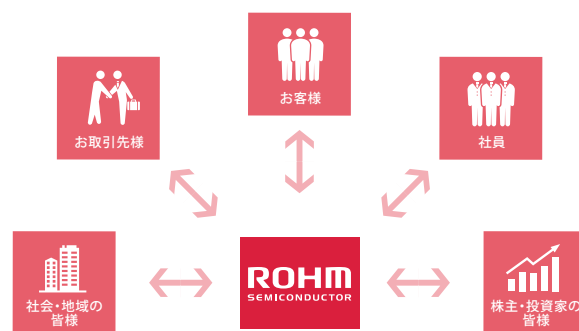
## 事業活動の軸であるCSR/CSV

ロームグループでは、創業当時より「企業目的」「経営基本方針」の実践を通じて、ステークホルダーとの相互信頼関係を構築することで、グループの持続的な発展を目指し、社会の健全な発展にも貢献してきました。「企業目的」には、事業を通じて社会をより豊かにしていきたいという強い思いが込められています。これらを根幹に、社会的要請や国際規範に沿ったCSRを果たすとともに、SDGsをCSVの源泉として、社会課題の解決につながる革新的な商品開発や高品質なものづくりを推進することで、ステークホルダーの皆様の期待にこたえられる企業を目指しています。



## ステークホルダーとともに持続的な発展を目指す

「企業目的」や「経営基本方針」を基盤として、グローバルな視点で、誠実・公正かつ透明性ある事業活動を行い、社会の持続的な発展に貢献するために定めたものがサステナビリティ方針です。ステークホルダーを5つに分類し、それぞれに対する密なコミュニケーションを通して良好な関係を構築し、社会からの信頼を得て、企業の持続的な発展を目指しています。2021年には、ロームと社会が持続成長する上で重要な10項目のサステナビリティ重点課題を再特定し、達成指標を策定しました。これらの取り組みの進捗を開示するなどし、コミュニケーションの強化を図ってまいります。

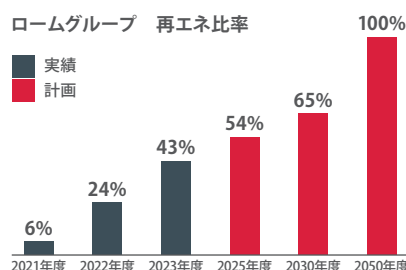


ロームグループ サステナビリティ方針

### TOPICS

## 環境配慮型の生産体制構築を目指し、再エネ導入を加速

脱炭素社会の実現に向け、企業の責任が大きくなる中、気候変動、資源循環、自然共生を柱とする「環境ビジョン2050」を掲げ、年度ごとの目標を着実に達成しています。特に生産拠点では、再生可能エネルギーの導入を前倒しし、環境配慮型の生産体制づくりを推進しています。



サステナビリティの取り組みについては、WEBサイトをご覧ください。  
<https://www.rohm.co.jp/sustainability>





[www.rohm.co.jp](http://www.rohm.co.jp)

#### 会社概要

商号	ローム株式会社 / ROHM Co., Ltd.
本社所在地	〒615-8585 京都市右京区西院溝崎町21 TEL (075) 311-2121 FAX (075) 315-0172
設立年月日	1958 (昭和33) 年9月17日
資本金	86,969百万円 (2024年3月31日現在)
代表者	代表取締役社長 松本 功
売上高	連結 467,780百万円 (2024年3月期)
従業員数	連結 23,319人 (2024年3月31日現在)



ROHM Integrated Report  
(統合報告書) はこちら

